

R-18



魔都精兵のスレイブ

想 請め BOX
53



まえがき

痴の道
有無で活生
ピント



訳 ほんの少しお
ピント

性癖を刺激
したりする
ホント深めさせ
痴の道

かく
北明

ス

——その日

俺と京香さんは
一線を超えた

それはとある
同伴御褒美時に

京香さんが俺を
主張してのもので



京香さん
顔を真っ赤に
していたのを
よく覚えている

その日の夜は
燃え上がつた

京香さんと
幾度となく
キスをして

御褒美タイムを
終えても行為は続いた

天花さんも
負けじと混ざり

いいよ…
沢山出してね

俺は初めての二人と
童貞を卒業した

その日からだと思う

俺への御褒美の
夕方が外れだしたのは

前許相手が内心で
提してはある事が

俺への御褒美が
なつたクスを含めたものに

俺への御褒美は
日に日に
エスカレートし

それと比例するよう
に「無窮の鎖」の力も
強化されていっつた

日々の戦いも
激化していき

更なる力も
求められた

：結果 僕は多くの
魔坊隊員と肉体関係に
なる事となつた

恋愛を含めた関係が
複雑怪奇なままに

越初動で一線を
越えていつたのは

訓練でスレイヴを
使用する機会が多
いのだから

当然といえば
当然かもしない

やはり同じ部隊の
七番隊の皆だつた

七番隊の皆とは

今ではもう
濃厚なプレイをする
仲になつていた

東日本万凜は
何だかんだで
句を言うものでは

日増しに褒美の内容が
濃くなつてゐる
ムツツリさんだ

ケツ舐めまで
や大抵のハードプレイを
やつた事がある

肛門セックス

シックスナインから

羞恥心が強く

他の娘も同席する際は
ハードなプレイも
影を潜める

ケダモノめえ

とてつもなく
艶かしい

二人きりの時だけ
見せる顔が

キュウ

深嫌ある時
いだると熱
い関係
仲間外れは
望されなつた

彼女とはずっと
健全な関係だったが

一度経験した後は
ドハマリしてしまつたらしく

お褒美時間を見つけては
ようねになりしてくる

その体格差もあつて
挿入すると一番奥まで
容易く到達し

お腹を押し上げられる
感覚が堪らなく
気持ちいいらしい

大人セックス…ッ

素質がありすぎた
ということなのだろうか

行為をする度に

背徳感で
ゾクゾクする

初めて告白を受けた時に一線を

何だかんだで一番ノーマルだ

あー一つ
ちよつと今日の
つもより少ない…

半ば共に物となつて
いる事も理解してると

さつきまで別の娘と
シてたでしょ

半ば諦めの
言葉も頂いた

けれど心の一番は
私が貰うから と言い



張り合う姿勢は

周囲を挑発し

そんな夜は

行為がどんどん過激になつて行くこともある

夜乾く暇もない

七番組の隊舎は
淫靡な空気で包まれ

全く…
お前という奴は…

朝を迎える頃には

オレ達七番組隊員は
ありとあらゆる
悦樂を享受する

うちの隊員全員を
こんな風に…

まだこんな
勃たせて…

底なしめ…

大体皆
身体中
なつて
いる
白濁液でドロドロに

な次つて深い関係にいるのは

天花さんをはじめとした各組長とだらう



ここ最近では恒例化する事が後は



しかしがつて問題視している声はない

ここままで来ると
いい状況だと言つて
い組織的に同一の男

理由は単純だ

人國家類あるからいい利益でも

そんな彼女達が子供を作ることは

人類最強の存在である
サラブレッド魔坊隊組長達

寧ろ上層部はこの関係を
寧ろ獎励すらしていた

加えて特才らしい人物
が中心人物である
といふこともある

優れた魔坊隊員の
事だけではない
血を引く子供も

九番組組長
風舞希

彼女は正直
何を考えているか
分からなない

基本寡黙な人の上
東家としての顔も持つ

単純に懐しんでいる
ように見えるだけに
その真意は
分からず仕舞いだ

五番組組長
蝦夷夜雲

彼女についてい
てはいらないと思
う

撮つ
つちやう
つちやう?

ピーッス♪

彼女は性に開放的で
参加している
純粹な興味から

二番組組長
運天美羅

責任：
絶対ツ
とつてツ

八番組組長
ワルワラ

いいですか？

彼女は京香さんを
崇拝している
私たちが京香様に
尽くす為にツ
いるのです

それを忘れては
いけませんツよ

貰うからなツ

彼女は
一番初心で

今も全然慣れる
気配がない

家族だから京香さんと
いう事に向向きだ

きつ気持ちいい
からといつて
流されでは：

はー

ああ

一番組組長
多々良木乃実

純粋な好意を才レに
向けてくれる

彼女はオレの
射精の際は

剥き出しに本能を出すように

零性液の一滴も絶対に
さないとでもも
いいといふてよろしく
に

常に密着するのを好み

月三番組組長
野ベル

積極的にだも

好きに動いてつ
くださいつ

はいつ

彼女は
内甘えられ
心欲して
おり

甘々なプレイを好み
キスが大好きで

恥ずかしがりながらも
抵の事には応じてくれる

押しに弱く
感じやすく

そこ

ちゅ

くちこ

ん

長年の経験で
分かっただ事だけれど

オレへの褒美は
相手との折り合いの
ついたものとなる

山總組長
恋

言つまり何が
言いたいかと

あ彼褒美で行われる行為は
あるといふことだ

いいでしゅつ

彼女のこれは
自分が強すぎるが故か
理由は分からぬが

雌豚奴隸である
この恋に
たつ
種付け射精

強い男に屈服したい
そういう
性癖なのだろう

最初こそ驚かれたが
慣れた様子だ

ありがとうございます
ご主人様♪

なで京香さんに次いで
エッチをする機会が多い



こっちもお返し♪



彼女は自身の
能力を利用して
暇を見ては
オレの枕元に
やつて来る

今日も沢山
頂戴ちやんの元

名乗つており
どんなん奉仕も
すすんでする



オレと子供を沢山
作りたいらしい



出雲組
天花長

そして
オレの御主人様

七番組組長

彼女はやはり
内心複雑な気持
一杯なようだ
けれど

羽前 京香

最近はこの関係にも
納得しているようだ

ケダモノ…め…

その度にオレの心は
喜びに満たされる

正妻は譲らないと
よく言われるが

こんな環境に
身を置いている

こんなオレが
言うのもなんだが

オレは彼女の奴隸だ

スレイブ

何を…

コラッ

やはり

そんなにまだ
私としたいか…

これまでも
これからも…

あかがく

今日は魔都精兵本!
ついでに込みをし忘れたリ
ハリハリやうかしつつも
無事刊行できました。
原作も露出多めだけに
フェラ等のキツ絶叫系と
直結シーンを基本上と意識して
描きました。

あかがく

奥付

製本、印刷 くりえい社

サークル名 想詰め

著者 串カツ孔明

サポーター 奇形 励

サークルＨＰ 「想詰め箱」
<http://omodume.zatunen.com/>
想詰めてググろう☆

想 訪め BOX